

オルビス、小児慢性特定疾病と闘う子ども達とそのご家族を支援

横浜こどもホスピスプロジェクト主催の交流イベントにて親子向けスキンケア体験会を実施

肌にふれ、自分を大切することを通じて心安らぐ時間を提供

オルビス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：山口裕絵、以下：オルビス）は、子ども支援の取り組み「[ORBIS ペンギンリング プロジェクト](#)」の一環として、認定 NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト（本社：神奈川県横浜市、代表理事：田川尚登、以下：横浜こどもホスピスプロジェクト）が 2026 年 2 月 15 日（日）に開催した交流イベントに参画し、小児慢性特定疾病とともに生きる子ども達とそのご家族を対象に、親子向けスキンケア体験会を実施しました。



スキンケア体験会の様子

開催の背景 交流と体験を通じて、子ども達とご家族を支える取り組みとして

本交流イベントは、小児慢性特定疾病と闘う子ども達とそのご家族の交流の場として、横浜こどもホスピスプロジェクトが企画したもので、今回のオルビスのスキンケア体験会は、子ども達が地域社会と関わり、将来への視野を広げることを目的とした「お仕事体験コーナー」の一環として開催しました。

オルビスは「ひとりひとりが持つ美しさが、多様に表現されるこちよい社会へ。」をミッションに掲げ、[「ORBIS ペンギンリング プロジェクト」](#)を通じた子ども支援や、小児がんの子どもを持つご家族へのスキンケア商品の提供など、肌にふれる時間を通じた心のケアに取り組んできました。本活動もその一つとして、子ども達が自分を大切にできるきっかけづくりと、ご家族に寄り添う時間の提供を目的に実施しました。



スキンケア体験会の様子

当日は、オルビスの美容のプロであるビューティークリエイターが講師を務めました。店舗でも使用している肌診断機で肌のキメを拡大して観察したほか、泡を触り比べながら洗顔に適した泡の質や量を学ぶなど、親子で楽しみながらスキンケアの基礎を体験いただきました。子ども達からは、「泡がアイスクリームみたい」といった声が上がリ、会場は和やかな雰囲気に包まれました。保護者の方々も、子ども達の様子を見守りながら熱心に説明を聞く姿が見られ、親子で学びを共有する時間となりました。

横浜こどもホスピスプロジェクト様からのコメント

当初子ども達は「何をやるのだろう？」と少し緊張した様子も見せながらも、モコモコの泡や肌診断機に触れるとすぐに笑顔になり、目を輝かしている姿が印象的でした。また、病気や障がいを持つ子どもの中には、肌にトラブルや心配を抱える場合も多く、お手入れの実践やスキンケアのアドバイスなどを親身に対応くださり、保護者の皆さまも貴重な機会を喜んでおられました。ご家族の方はお子さんの毎日のお世話を忙しく頑張っておられ、ご自身のスキンケアまで手が回らないとの声をよく耳にします。今回、「子どものイベントに出かける」というきっかけを通してオルビスさんのスキンケア体験会と出会い、これからの小さな癒しや幸せの時間とつながってほしいと心より願っております。

オルビスの子ども支援 スキンケアを通じて、こちよさを社会へ

オルビスは、鏡の前で自分に触れるスキンケアの時間を、肌を健やかに保つと同時に、心を慈しむ大切なひとときだと考えています。変化や不確かさに向き合う人々のそばに寄り添う存在でありたい—そんな想いのもと、今後も「ORBIS ペンギンリング プロジェクト」を中心に、子ども達と、その周囲を支える取り組みを続けてまいります。そして、肌にふれる時間から生まれるこちよさを、社会へと広げていきます。

【本件に関するお問い合わせ先 報道関係者】（画像データもご用意しております）

オルビス株式会社 広報担当：小川、岩田 Email：orbis-pr@orbis.co.jp